

# Q&A 先月の技術相談から

## 経営指標で重要なものを挙げるとしたら何ですか？

**Q：** 企業経営を考える上で、経営指標で重要なものを挙げるとしたら何ですか？

**A：** 主な経営指標は、財務諸表（貸借対照表、損益計算書など）から計算されます。

企業経営にとって最も重要なことは、営利を目的として経済活動を継続して実施することです。このことから、会計学では「企業」を「継続企業 (going concern, continuing concern)」と呼ぶことがあります。

さて、企業が継続するためには、1. 健全性、2. 収益性、3. 安全性が基盤になければなりません。この中でも特に銀行が注目するのは、融資が回収できるかどうかの判断基準になる「安全性」です。企業と銀行は切っても切れない関係にあることからすれば、安全性を如何に確保するのか、銀行目線で自分の会社を客観評価する必要があります。

それでは、経営指標のうち、一般的に重要とされる指標についてみていきます。

### 1. 健全性：自己資本比率および固定長期適合率

自己資本比率 (%) = 自己資本 ÷ 総資本 × 100

この比率が高いと財務基盤が強いと判断され、古くから目安として40%以上が望ましいとされています。EDIUNET（無料の株式投資ツール：4,000会社の最新信用格付を提供）によれば、本州木製品製造業者では「ウッドワン」が概ね40%、「南海プライウッド」に至っては90%を超えています。

固定長期適合率 (%)

= 固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100

これは、設備投資を長期資金で賄っているかどうかを見る経営指標です。100%を超えると運転資金を含む短期資金を使って設備投資をしていることになり、外部からは資金的に苦しい状態と判断されてしまいます。

### 2. 収益性：売上高対総利益率

売上高対総利益率 (%) = 総利益 ÷ 売上高 × 100

これは企業が販売する製品・サービスの販売総額が売上高に占める割合を表し、付加価値率とも言わ

れています。これは企業の収益性を表す基本的な指標であり、経営分析を行う上で付加価値率の推移は重要な経営指標としてとらえられています。一般的には20%以上欲しい所ですが道内企業ではそこまで行く企業は少ないと言われています。「ウッドワン」では33.3%、「大建工業」では24.7%となっています。

### 3. 安全性：経営安全率

経営安全率 (%)

= 売上高 - 損益分岐点売上 ÷ 売上高 × 100

これは売上高から損益分岐点売上高を差し引いて、その結果を売上高で割った数値で、不況に耐える力を見る経営指標です。要は、今の売上げからどれだけ下がったら損益がイコールになるかを示す経営指標です。できれば20%以上を目指すことが望まれます。

このほか、資金流動性を示す流動比率も銀行家、投資家にとっては重要な比率です。

流動比率 (%)

= (流動資産合計 ÷ 流動負債合計) × 100

これは一般的には優：300%以上、良：200%以上、可：100%とされ、「パナホーム」では200%を超え、「南海プライウッド」は423%などとなっています。

経営指標は一年間の企業活動の結果です。これら指標の改善のためには、製造原価報告書に示される日々の生産活動におけるコスト低減や新たな製品開発による高付加価値化が欠かせないことは言うまでもありません。

(利用部 マテリアルグループ 石河周平)